

(表紙)
議定書

村議定之事

- 一 浪士之義者、有合候ものニ而相賄、「宿可致事
- 一 婚姻并祝等、其外振舞、親類・「組合・向三軒兩隣之外、手広ニ」致間敷事
- 附り、村役人并若江者、三ツ目振舞、是又「致間敷候事
- 一 不祝儀者清め酒老升、并「不幸ニ付他所江出候もの江出迎致候義、」相互之義ニ候得者、出迎致間敷候事
- 附り、念仏玉差出申間敷事

- 一 花会之儀、他所占申来り候とも「相断可申事
- 一 遊日之義者、役元占定使を以「相触可申事
- 一 男女馴合又者密通杯無之様「可致、親類・組合心附可申事
- 附り、万一心得違之もの有之候共、「若江者江酒代遣取致間敷事

一 山売買之節、祝之義者買主「心次第を請、万端実意ニ世話「いたし可申事

右者、当村之儀、近年祝儀・不祝儀「其外振舞等之義、追々手広ニ相成、「自然者身上掛り相嵩難儀致候ニ付、「村内一同相談之上、兩御役場江前書」之簾々申出候処、御聞濟之上、今般「議定取極仕候、然ル上者、右之趣キ」急度相守可申候、右簾之内一簾「たり共相破候もの有之候ハ、御役場ニ」おゐて御取締被成下候趣被仰聞、「一同承知仕候、且小前ニおゐても供々」心附、万一右簾不ニ相用候もの有之候節者、其段申出、御役場占御取締「請候様可仕候、為後日「村内議定連印」致置候処、如件

文久二戌年三月

藤十郎
仲次郎
三郎兵衛
万吉
善次郎
太十郎
房五郎
久五郎
森八